

福島県のブランド米「福、笑い」  
WEBショートフィルム「大切な人を笑顔にする贈り物」第2弾  
「おじいちゃん篇」を12月23日(月)より公開

～「福、笑い」を通じて、大切な人とのつながりの魅力を描く～

福島県は、県のブランド米である「福、笑い」のブランドサイトにて、WEBショートフィルム「大切な人を笑顔にする贈り物」の第2弾「おじいちゃん篇」を、2024年12月23日（月）に公開しました。



「福、笑い」は、米どころ・ふくしまが14年の歳月をかけて開発したトップブランド米です。「福、笑い」という名前には、「つくる人、食べる人、みんなが笑顔になり、幸せになりますように」という願いが込められています。

ブランドサイトでは、大切な人に贈りたくなる「福、笑い」を通じた、大切な人とのコミュニケーションの魅力を伝えるため、3人の日常における大切な人とのひとコマを切り取ったWEBショートフィルムを公開しています。2024年12月9日（月）公開の「大切な人を笑顔にする贈りもの」の第1弾「女子大学生篇」を皮切りに、第2弾となる「おじいちゃん篇」を2024年12月23日（月）に公開しました。

### WEBショートフィルム第2弾「大切な人を笑顔にする贈り物 おじいちゃん篇」概要

第2弾は、母になった娘の帰省を楽しみに待つ「おじいちゃん」にフォーカスしました。孫の顔を見ると、自分もすっかりおじいちゃんになったと実感。娘のお米好きを知っているおじいちゃんは、「福、笑い」をプレゼントします。大切な娘と孫と一緒に、笑顔で食卓を囲むシーンに心が温まります。

本ショートフィルムでは、普段、恥ずかしくて言葉では伝えられない大切な人への気持ちを、「おいしいごはん」という幸せで体現し、「福、笑い」を通じた大切な人との繋がりを描いています。



## WEBショートフィルムについて

「福、笑い」は、大切な人を想う気持ちを「おいしいごはん」という幸せで体現できるお米です。大切な人に感謝を伝えたいけど、言葉で伝えるのは少し恥ずかしい。大切な人のことを考えると、つい何かを贈りたくなる。そんなときに贈りたくなる「福、笑い」の魅力伝えるため、WEBムービー「大切なひとを、笑顔にする贈りもの」が公開中です。その中に登場する3人の登場人物に焦点を当て、日常における大切な人との瞬間を切り取ったWEBショートフィルムを順次公開しています。

### ■WEBショートフィルム第1弾「大切な人を笑顔にする贈りもの 女子大学生篇」



2024年12月9日（月）に公開された「女子大学生篇」は、一人暮らしを始めて8カ月の女子大学生のひとコマ。一人暮らしを始め、実家の大切さに気づいた主人公は、帰省の際、「福、笑い」を贈ることで普段両親に言葉で伝えられない感謝を表現しています。家族でおにぎりを食べるシーンが印象的です。

### ■WEBショートフィルム第3弾「大切な人を笑顔にする贈りもの 友人篇」



2025年1月6日（月）公開予定の「友人篇」は、友人夫婦に子どもが生まれた報告を受け、お祝いに向かう夫婦のひとコマ。友人へのお祝いの気持ちを「福、笑い」を贈ることで表現しています。「友人篇」の公開を楽しみにお待ちください。

※福、笑いブランドサイト：<https://fukuwarai-fukushima.jp/>

※動画掲載ページ（ブランドサイト内「ギフト」タブ）：<https://fukuwarai-fukushima.jp/gift/>

## 「福、笑い」について

「福、笑い」は、福島県が14年の歳月をかけて開発したお米の品種です。2006年に「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」の血を引く品種を交配し、2019年に正式に奨励品種として認定されました。この「福、笑い」という名称は、6,234点の応募の中から選ばれたもので、「つくる人、食べる人、みんなが笑顔になり、幸せになりますように」という願いが込められています。

「福、笑い」には厳しい基準が設けられており、玄米タンパク質含有率は6.4%以下、ふるい目は1.9mm以上、農産物検査1等の選ばれたお米のみが「福、笑い」と名乗ることができます。また、認証GAPを取得した登録農家のみが栽培できるため、品質へのこだわりが強く表れています。さらに、福島県の清らかな水と恵まれた気候風土が、このお米の美味しさの秘密です。



## 贈り物に「福、笑い」を

感謝の気持ちを伝えたい時や、お祝いの気持ちを伝えたい時など、贈り物をしたいけど、何をあげたら喜ばれるのか、悩む方も多いのではないのでしょうか。

日本人の主食である「お米」は、日本の食卓に欠かせない存在です。そんな毎日の食事を少し温かくする、「お米」をギフトにしてみてもいいでしょうか。お祝いや内祝い、お歳暮やお年賀など、様々な場面で幅広い年齢の方に喜んでいただけます。

2024年2月に本ブランドが行った調査によると、他のブランドと比較し、「福、笑い」を「お祝いで食べる」、「贈答用」、「お土産として」食べている方が多いことが分かりました。

味にも品質にも、パッケージにもこだわり抜いた、米どころ・ふくしまの最高傑作をぜひお試しください。



福、笑い	購入者調査 全体	n	77.2	18.4	18.4	14.0	11.4	3.5
参考 1都3県	1.他県産米A	166	96.4	4.2	1.8	0.6	0.0	0.0
	2.他県産米B	54	92.6	13.0	3.7	3.7	0.0	
	3.他県産米C	117	96.6	6.0	3.4	1.7	0.0	
	4.他県産米D	57	89.5	10.5	5.3	3.5	0.0	
	5.他県産米E	92	89.1	14.1	7.6	2.2	1.1	
競合 品 種 福 島	1.他県産米A	17	88.2	11.8	11.8	5.9	0.0	
	2.他県産米B	14	85.7	0.0	14.3	14.3	0.0	
	3.他県産米C	42	90.5	4.8	2.4	9.5	0.0	
	4.他県産米D	5	100.0	20.0	0.0	20.0	0.0	
	5.他県産米E	13	92.3	15.4	15.4	7.7	0.0	

2024年2月実施 福島県「福、笑い」購入者114名アンケート結果より抜粋

## デザインについて

パッケージデザインは、日本を代表するグラフィックデザイナー・イラストレーターである寄藤文平さんによって創り出されました。このデザインは、「作り手も、食べ手も笑顔になる」という米づくりへの深い想いを視覚的に表現しています。

寄藤文平さんの、「お米に支えられ、お米とともに育まれてきた世界を伝える絵」は、温かみのある素朴なタッチで、米への敬意と感謝を表現しています。どこで見ても「福、笑い」とすぐに認識でき、見る人の心に温かい気持ちをお届けします。さらに、このパッケージデザインは、「日本パッケージデザイン大賞2023 食品部門」において見事、銀賞を受賞。その卓越したデザイン性が高く評価されました。

